



お 麻

み 績

世界に広がる爆発的感染
新型コロナウイルス

人口 2,687人(男 1,285人 女 1,402人) 世帯数 1,129戸(R2.4.1現在)

広 報
No.146

2~15

議会だより
No.136

16~22

農業委員会だより
No.51

23~29

麻績村ホームページ



新型コロナウイルス

3つの



を避けましょう!

- ①換気の悪い **密**閉空間
- ②多数が集まる **密**集場所
- ③間近で会話 **密**接場面

広報麻績

No.146

発行 麻績村
編集 村づくり推進課
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

表紙写真
北アルプスと枝垂れ桜(桑山・中央)

☆新型コロナウイルスについて……………	2
☆令和2年度当初予算……………	3
☆麻績日記……………	6
☆役場職員人事異動・紹介……………	8
☆各課からのお知らせ……………	9
☆健康と福祉のひろば……………	12
☆関係機関からのお知らせ……………	14
☆防災コラム……………	15

もしも、発熱等のかぜ症状がある方は、外出を控えましょう。

また、症状がある方は、医療機関を受診する前に「有症状者相談窓口」へ相談しましょう。

松本保健所 ☎0263-40-1939 (24時間対応)

◆次のような場合は、医療機関を**受診する前に必ず電話でご相談**ください◆

- カゼの症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている方
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます。)
- 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

感染症対策の基本を実行!!

感染症対策の基本は、「手洗い」と「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

※咳エチケットとは、感染症を他人に感染させないため、咳・くしゃみをする際に、マスクやティッシュ・ハンカチ・袖を使って口や鼻を押さえることです。

【新型コロナウイルス感染症一般相談窓口】

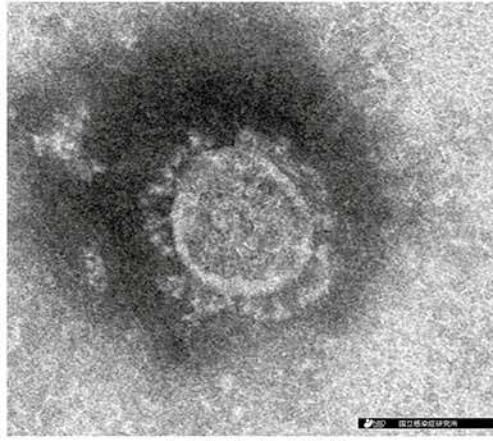
休日を含め24時間、専用電話で受付けています。
<専用電話> ☎026-235-7277

【聴覚障がい者等相談窓口】

休日を含め24時間、専用FAXで受付けています。
<専用FAX> ☎026-403-0320

新型コロナウイルス感染症が全国各地で広がり、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき緊急事態宣言が4月7日7都府県に向け宣言され、4月16日には全都道府県に拡大されました。

長野県でも各地で感染者が発生しており、麻績村にいつ感染が及んでも不思議でない状況となっています。



▲コロナウイルス
(写真提供：国立感染症研究所)

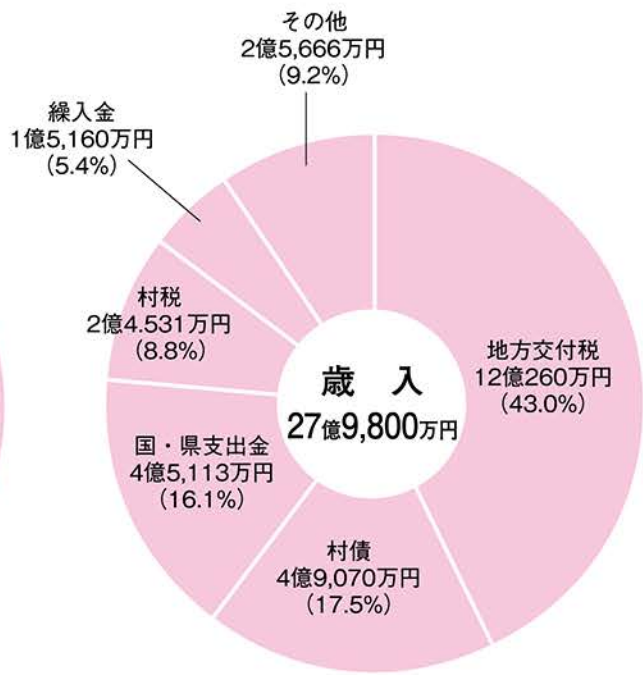
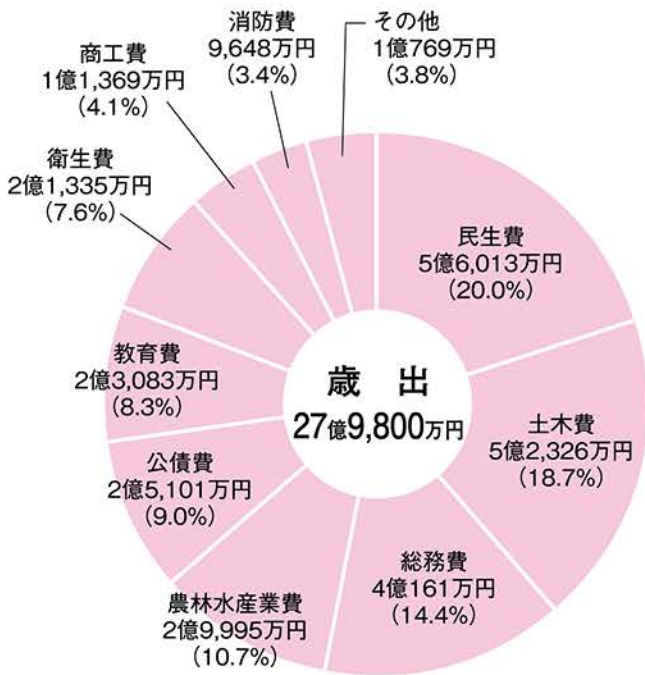
もし村内から感染者が出ますと関係する皆様全体に影響を及ぼすこととなります。保育園・小中学校等に通うお子さんがいれば休園・休校をせざるを得ないこととなる他、小規模自治体ならではの風評被害が起こり得ることが予想されます。

不要不急の外出及び、感染者数の多い都市部との往来(帰省・旅行)も極力控えていただき、感染症対策へのご協力を頂きますようお願いいたします。

令和2年度 当初予算

令和2年度の予算編成も昨年度に引き続き増額予算編成となりましたが、将来に備えた村づくりを進めていきます。

当村では、人口減少、少子高齢化、地域産業の衰退という大きな地域課題に対処するため、また、多様化・高度化・増大する行政需要に的確に応えるため、国の過疎対策事業など有利な事業を活用して効率の良い行財政運営に努めます。



令和2年度の一般会計予算

予算総額	27億9,800万円
村民一人当たり	約104万円
村税収入	2億4,531万円
村民一人当たり	約9万円
令和元年度末の借金(起債)総額	約39億円
【交付税措置後は約19億円】	
令和元年度末の貯金(基金)総額	約26億円

特別会計予算

国民健康保険特別会計	3億4,500万円
聖高原別荘地地上権分譲事業特別会計	100万円
住宅団地分譲事業特別会計	1,600万円
下水道事業特別会計	1億5,720万円
水道事業特別会計	1億3,700万円
介護保険特別会計	4億7,000万円
後期高齢者医療特別会計	5,000万円

令和2年度主要事業紹介

①台風19号被害の復旧

災害復旧事業費

4,334万円

※麻績川等の国、県が直接行う災害復旧費は含まれていません。

令和元年10月12日に上陸した台風19号は関東地方や、甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり甚大な被害をもたらしました。当村においても、観測史上最大の24時間雨量242mmという記録的な大雨により、麻績川宮本地区の堤防が決壊し、今年度の作付けが出来ない農地や通行止めとなつていている村道があります。村が管理する村道など土木施設や農地、農業用施設災害の早期災害復旧に向けて努めてまいります。



▲聖高原別荘地内の道路被害

②若者定住策の推進

住宅整備費

小東地区造成住宅建設

5棟 1億4,190万円

天王、本町地区

の若者定住住宅入居者の状況は、43戸150名が入居し中学生以下の者も60名と人口増加対策の効果が現れてきています。切れないのない若者定住策を進めるため住宅整備を進めます。



▲工事が進む小東地区造成住宅

コミュニティ広場整備

子どもの遊び場整備費

1,840万円

若者定住策には、住宅整備と共に子育て環境の整備が重要です。

麻績学舎横の公園(ちびっこ広場)も整備してから25年が経過し、老朽化が進んだことからリニューアルを計画しています。



▲整備を計画しているちびっこ広場

保育園や小学校の近くにある公園を整備し、多くの子どもたちが集まる学びの場を目指します。また、未就園児の親たちが集う「ひだまり広場」の充実やLD等通級指導教室開設など引き続き教育環境の整備に努めます。

③教育環境の充実

保育園運営費

6,510万円

保育園児数65人(未満児16人、3歳児以上49人)

保育園を新築してから17年が経過し、遊具についても経年劣化が進んでいます。大型遊具の修繕等を行い園児が安全に遊べるようにします。

小学校費

6,200万円

小学校児童数92人(各学年1クラス)

小学校の空調設備など順次施設整備を進めています。今年度は、トイレの洋式化と放送設備の更新などを行います。

中学校費

5,958万円

中学校生徒数55人(各学年1クラス)

筑北村からの『協議によらない学校組合からの脱退届』が出され2年が経過し、規定のとおり3月31日をもって学校組合は解散、4月1日から麻績村立筑北中学校となりました。

生徒数の減少による部活動への影響を最小限に抑えるよう、部活動指導員任用事業・合同部活動支援事業など県補助事業を活用して、生徒に対する支援強化を図っていきます。

④地域農業の活性化

農業用水路

1億7,921万円

各地区から要望をいただいています。農業用水路整備や老朽ため池整備には多額の事業費が必要ですが国予算が厳しく、事業全体が遅れております。引き続き国への要望を強め事業推進に努めます。

今年度から新規採択となりました。聖湖水系の改修に着手してまいります。



▲老朽化した用水路

後継者育成

地域おこし協力隊事業

3,632万円

次世代人材投資事業

1,425万円

農業の一番の課題は、後継者不足です。麻績の特産品であるリンゴ栽培も危機を迎えています。

そんな中、地域おこし協力隊農業班はリンゴ栽培を学び、農家の皆さんからリンゴ畑を受け継ぎ後継者として育ち始めました。



▲後継者としてリンゴ栽培を学ぶ

⑤移住促進

都市部で移住相談会を開催

101万円

麻績村の人口は、令和2年1月1日現在2,707人となり昨年と比較し46人減少、高齢化率43.5%となっています。人口の減少を緩めるために東京、名古屋、大阪等都市部において移住相談会を開催します。

移住体験住宅(おためし住宅)整備事業費

375万円

麻績の地を知っていただき、移住先として決めていただくために「農村体験住宅」を整備します。

結婚新生活支援事業補助金の創設

90万円

若者の結婚促進を図るため、国の補助金を活用して結婚新生活支援補助事業を創設しました。

⑥安心・安全の村へ

道路拡幅橋梁改修整備事業費

1億5,635万円

緊急大型車両などの通行路を確保するため道路拡幅、橋梁改修工事を進めます。工事による通行止め等、関係地区の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが工事の完成にご協力をお願いします。



▲架け替え予定の矢倉橋

地区公民館耐震化事業費

2,973万円

昨年、台風19号襲来時には各区長のご協力を得て地区公民館を第一次避難所として開設しました。

大規模災害発生時に地域における第一次避難所となり得るよう耐震基準を満たしていない主要な地区公民館の耐震化を進めます。



▲耐震化を終えた市野川公民館

⑦観光事業費

1億364万円

麻績村を応援してくれる様々な団体と連携して新たなイベントが開催されるようになりました。

聖山天空トレイルマラソンや聖山登山、長野県各地域をめぐるサイクリングなど自然を楽しむスポーツイベントの開催を推進します



▲多くの参加者が聖山を駆け抜ける

麻績日記

農業を目指す方へ 農業人フェア

東京池袋で1月25日、農業人フェアが開催されました。「農業人フェア」は、(公財)日本農業法人協会の主催による「いつかは農業を始めた」「就職・転職先として農業を考えた」「など仕事として農業を考えている方への就農相談会です。全国のJA、農業公社、自治体等様々な農業関係者が人材を求めて参加していま



▲熱心に話を聞く参加者

す。麻績村がこの相談会に出るのは2回目。学生から転職希望の社会人まで多くの方の相談に応じました。

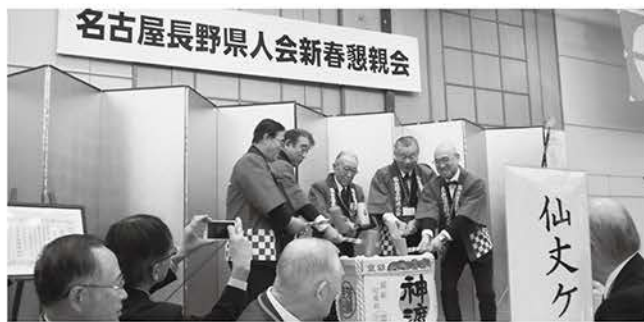
名古屋長野県人会 新春懇談会

名古屋市内のホテルにおいて2月1日、長野県出身者が集う名古屋長野県人会新春懇親会が開催されました。愛知県大村秀章知事、長野県太田寛副知事を迎え、長野県人会太田宏次会長(松本市出身)のもと、総勢130人が出席しました。

開会に先だち、台風19号で被害に遭われた方に対し黙祷を捧げました。また、県人会から長野県に159万円の寄付金が届けられており、太田副知事から県人会に感謝状が贈られました。

県歌「信濃の国」を全員で合唱し、大村知事からは災害に負けないよう励ましの挨拶があり、太田会長の挨拶には、ふるさとへの思いが込められていました。

太田副知事は、愛知県から災害復旧に多くの職員の派遣をいただいていることのお礼を伝え、復興に対する決意が述べられました。



▲多くの長野県出身者が参加

この懇親会には、木曾地域から大北地域の首長を筆頭に役場職員や長野県に縁のある企業が出席して観光PRが行われ、麻績村からは、お土産に特産品「おやき」や「清酒 麻績郷」を提供して村長他職員と協働隊が出席、伝統芸班が作成した作品の展示など村

の観光PRを行ってきました。

麻績村(上町)出身の臼井三千男さんは「今年こそ、麻績村に行きたい。」とふるさと麻績村への思いを話されました。

雪不足により スキー場イベント中止

聖高原ジュニアジャイアントスラローム大会、スノーフェスティバルの開催が2月上旬と下旬に予定されていましたが、例年にならない雪不足により、初めての中止となりました。



▲雪不足のスキー場(1/20撮影)

季節外れの大雪 停電・断水発生

県内北部と中部を中心に3月29日大雪となりました。村内でも日向地区を中心に倒木による停電が発生しました。

停電に伴い断水となる地域もあり、一部地域では災害用発電機が公民館に設置されました。

日向地域の一部では約24時間、北山地区は約36時間に及ぶ停電となりました。



▲倒木による停電(北山地区)

筑北村、学校組合から脱退へ

新たなスタート麻績村立筑北中学校

麻績村と筑北村では平成23年から両村の学校統合実現に向けて話し合いを進めてきましたが、平成26年筑北村において独自の学校統合へと方向転換がなされ、両村の学校統合は断ち切れとなりました。その後、平成29年3月に筑北村では同村議会の議決を経て、麻績村筑北村学校組合から脱退協議を要しない地方自治法286条の2による脱退届出を提出、令和2年3月31日をもって脱退され、学校組合は解散となりました。

筑北中学校は、昭和26年4月、旧麻績村・旧日向村・旧坂井村の3村の学校組合立として開校以来、69年間に亘り総勢6,884名の卒業生を送り出しました。

令和2年4月からは、麻績村立筑北中学校として長い歴史を引き継ぎ、更なる発展を目指して運営してまいります。

・組合立筑北中学校の歴史

昭和22年4月、新制小・中学校が発足したものの、終戦直後の教育制度の大改革で準備期間も少なく応急的に小・中学校併設という非常措置をとらざるを得なかったため、5か村（坂井、麻績、日向、坂北、本城）どこも不便と狭隘に悩まされていました。

共通の悩みをもつ筑北5か村は、同年以来、理事者、新制実施準備協議会委員及び小・中学校長が合同会議を重ね、この地方にあるべき学校・組織について5小学校・2中学校を理想とする結論を出しました。

昭和25年3月 3か村(麻績・日向・坂井)は、学校組合を設立して「組合立筑北中学校」の設置へ
昭和25年 新校舎建設に着手

昭和26年4月 3か村組合立筑北中学校開校

昭和27年4月 新校舎で授業開始 生徒数641人

昭和31年11月 麻績村・日向村が合併、麻績村となり校名を
麻績村坂井村学校組合立筑北中学校と改称

昭和49年7月 現在地に新校舎起工

昭和50年9月 オープンシステムの新校舎竣工

平成17年11月 坂井村・坂北村・本城村が合併し、筑北村と
なり校名を麻績村筑北村学校組合立筑北中学校
に改称 【以上「麻績村誌」より】

平成29年3月 筑北村長より麻績村長に対して、平成32年3月31日をもって麻績村筑北村学校組合
から脱退する旨が伝えられる。

平成29年4月 筑北村長より麻績村筑北村学校組合管理者に対して、平成32年3月31日をもって麻
績村筑北村学校組合から脱退する旨が伝えられる。

平成29年6月 筑北村長より麻績村筑北村学校組合管理者に対して、地方自治法第286条の2第1
項により脱退届が提出される。

(筑北村議会による「麻績村筑北村学校組合からの脱退について」の議決書添付)

令和2年3月31日 筑北村が学校組合から脱退・組合解散となる。

令和2年4月 麻績村立筑北中学校となる。

生徒数55名(4月1日現在)となりましたが、小規模校ならではの「個」の良さを伸ばすよう行政・教育関係者一体となって一貫教育を進めてまいります。村民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

発足当時の職員・生徒数

校名	職員数	生徒数
麻績小学校	13名	585名
麻績中学校	9名	197名
日向小学校	8名	307名
日向中学校	7名	147名



役場職員 人事異動

退職者 ありがとうございます

教育委員会 塩家正和
住民課 傳田佳子

異動職員

***課長級**
議会事務局長 臼井 太津男 前教育次長
教育次長 塚原 優仁 前議会事務局長

*係長級

村づくり推進係長 宮下 信俊 前住民係長
総務係長 塚原 貴志 前村づくり推進係長
会計係長 宮川 美矢子 前福祉係長
住民係長 宮澤 和子 前会計係長
健康福祉係長 高野 寿美 前健康づくり推進係長
振興係長 宮下 浩保 前総務係長
観光係長 宮下 佳康 前振興係長

*主任級

総務課主任 宮下 伸一 前会計室主任
会計室主任 葦澤 慶一 前観光課
住民課主任 岩淵 美奈 前振興課主事
振興課主任 尾和 正行 前総務課主事
教育委員会主任 一之瀬 裕希 (県派遣研修から)
県建設部建設政策課 櫻井 敦祥 (県より派遣研修)

新規採用職員 よろしくお願ひします

教育委員会主任 高野 智弘
振興課技師 吉野 浩昭
教育委員会主事補(保育士) 花岡 実咲

新規採用職員紹介①
高野 智弘



高野智弘と申します。

地域おこし協力隊として子育て支援活動に取り組みでまいました。この度4月1日より麻績村教育委員会に配属となり、公民館で勤務させていただくこととなりました。

私のモットーは「明るく仲良く 元気よく！ 磨けよ心、鍛えよ体 今日もみんなで頑張ろう！」です。

この言葉を胸に、村民の方々と明るく澁刺と関わっていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

新規採用職員紹介②
吉野 浩昭



この4月から職員となりました。吉野浩昭です。ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、下井堀で生まれ育ちました。3月までは筑北クリーンセンターで働いておりましたが、ご縁があつて麻績村で働かせていただくこととなりました。今は生まれ育った麻績村で働くことができ、嬉しい気持ちと使命感でいっぱいです。

現場の仕事が私の主戦場ですので、村内で見かけた際は気軽に声をかけてください。これからよろしくお願ひいたします。

新規採用職員紹介③
花岡実咲



麻績村のみなさんこんにちは。

教育委員会の保育園に配属になりました。花岡実咲と申します。

生まれ育った麻績村で大好きな恩師の先生と一緒に働くことができとても幸せです。社会人1年目で不安な気持ちもありますが、感謝の気持ちを大切に笑顔で元気いっぱい子どもとたくさん関わりたいと思います。

20年間育ててくれた麻績村に恩返しができるように頑張ります！よろしくお願ひします。

各課からの
お知らせ

新型コロナウイルスに
便乗した
悪質商法に注意

全国で新型コロナウイルスに便乗した、怪しい電話やメールの相談が多く寄せられています。相談の内容は、「助成金があるので、個人情報や口座情報を教えてほしい」等の電話やメールが来るといふものです。「個人情報や口座番号を教えてほしい」と言われたら、詐欺の疑いがあります。こうした電話はすぐ切り、メールは無視してください。絶対に、口座情報や個人情報をお教えいたしません。

◇お問い合わせ先
役場住民課
☎0263(67)4854



後期高齢者医療制度のお知らせ

令和2・3年度の保険料率が決まりました

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療給付費等を推計して2年ごとに見直されます。長野県における令和2・3年度保険料率は、後期高齢者医療広域連合議会2月定例会の議決を受け、次のとおり改定することになりました。保険料額は6月下旬に決定し、7月以降に決定通知書をお送りします。

均等割額 **40,907円** + 所得割額 **(所得-33万円)×8.43%** = 年間保険料額 **64万円**
被保険者一人当たり

保険料の軽減

●低所得に係る均等割額の軽減

世帯の被保険者数に乗ずる金額について、5割軽減は28万円から「28万5千円」に、2割軽減は51万円から「52万円」に上げます。これにより、それぞれの軽減該当条件が拡充します。

世帯内の被保険者と世帯主の前年の総所得金額等を合計した額	軽減割合（軽減後の均等割額）	
	令和2年度	令和3年度
33万円以下の場合	7.75割軽減 (9,204円/年)	7割軽減 (12,272円/年)
うち、世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下（その他各種所得なし）の場合	7割軽減（12,272円/年）	
33万円+ (28.5万円 × 世帯の被保険者数) 以下の場合	5割軽減（20,453円/年）	
33万円+ (52万円 × 世帯の被保険者数) 以下の場合	2割軽減（32,725円/年）	

※保険料額は、収入金額や世帯構成により異なります。

※住民税の基礎控除額。平成30年度税制改正により、令和3年度から43万円となります。

防災備品配備

各地区の区長の皆さんにご協力をいただいて、第一次避難所として指定された公民館に、発電機や投光器などを配備させていただきました。

また、講演会などを開催し、地域防災の課題についての意見交換をするなかで、第一次避難所開設訓練を計画しています。

第二期 麻績村子ども子育て支援事業計画を策定しました

麻績村では、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援事業を総合的に推進するため、令和2年度から令和6年度の5年間の計画期間とする「第二期麻績村子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

計画の内容は、麻績村公式ホームページに掲載しているほか、役場住民課・保健センターの窓口でも事業計画書の配布を行っています。

す。ご希望の方は各窓口でお申し出ください。

行政相談員による無料相談会の開催について

行政相談員による無料相談会を6月20日(土)午前10時より役場会議室において開催します。

「行政相談」とは国の役所や独立行政法人及び特殊法人が行っている仕事に関する苦情や意見・要望をお聴きして、その解決や実現を図るものです。

行政相談員は、定期相談会のほか、自宅でも皆様のご相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

なお、相談は無料で秘密は守られます
※ご不明な点がございましたら、役場 総務課までお問い合わせください。



地域おこし協力隊に新たなメンバー4名加入

地域おこし協力隊に新たなメンバー4名が加入しました。

機織りや草木染、紙すきなどの伝統工芸の復興を目指す伝統工芸班に「稲田朋子」さん「小菅亜理沙」さん。



地域農業の活性化と新たな担い手の育成を目指す農業班に「稲田稔雄」さん「土山隆幹」さんが加わりました。



5月連休中の村関係業務等のカレンダー

施設・業務名	5月										備考
	1日(金)	2日(土)	3日(日)	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)	
村営バス			休	休	休	休			休	休	4/25(土)～5/2(土)通常運行
役場証明書等発行業務		休	休	休	休	休			休	休	暦通り
ごみ収集		資源物2				可燃物	資源物1				通常通り実施
生ごみ収集		休	休	休	休	休	未回収日		休	休	通常通り実施(対象地区のみ)
し尿汲み取り		休	休	休	休	休			休	休	暦通り
福祉センター	休館										4/19(日)～休館
福祉バス	運休										未運行日 未運行日 4/22(水)～運休
屋内スポーツ広場(宮本)	閉場										4/20(月)～閉場
筑北地区休日当番医			松林	休	休	休				休	5/3(日)松林医院

* 状況により休館等の対応が伸びる場合があります。

観光情報

聖高原スキー場へ

お越しいただき
ありがとうございます

聖高原スキー場は2月21日をもって今シーズンの営業を終了しました。今年例年にならない雪不足により、シーズンを通して6日間の営業となっていました。



来シーズンは、雪が多く積もることに期待をし、多くの皆さまのお越しをお待ちしています。

星とひかりのフォトコンテスト結果発表

昨年の12月から2月末まで開催をしていた、星とひかりのフォトコンテストの審査会を行い、合計13名の方が受賞しました。

今回のフォトコンテストには、郵送応募が45作品、インスタグラム応募が198作品と多くのご応募をいただきました。審査員からは、「今年は件数も増え、レベルが高く選考に悩んだ」「インスタグラムからの応募は、こちらでは気づかなかった新たな視点での撮影が多くあった」などのコメントをいただきました。受賞者と受賞作品は次の通りです。(敬称略)

※インスタグラム応募のみでの公表となります。

◇麻績村観光協会賞(1名)

・@meguchan3

(長野市)

◇審査員特別賞(2名)

・小山 竝圍(麻績村)

「冷たいかな」
・@kokia3983

(長野市)

◇おみぼん賞(5名)

・@chichgaku

(筑北村)

・青木 彦忠(須坂市)

「夕暮れのイルミネーション」

・小川原宏子(安曇野市)

「幸せな夜」

・山岸 秀敏(筑北村)

「高原に出現した街の灯り」

・立石 研(松本市)

「彩色光」

◇入選(5名)

・大学 肇(松本市)

「虹色の光と共に」

・@chie55777

(長野市)

・青山 益登(長野市)

「見入る二人」

・@yukapoo68

(安曇野市)

・村岡 清隆(大町市)

「イルミネーションと花火の競演」



審査員特別賞
小山 竝圍(麻績村)



審査員特別賞
@kokia3983(長野市)



麻績村観光協会賞
@meguchan3(長野市)

健康と福祉のひろば

令和2年度 がん検診のお知らせ

今年度、村が実施するがん検診は次のとおりです。各検診の詳しいご案内は、令和2年2月に実施した「各種がん検診希望調査」に基づいてお送りいたします。転入等で新たに受診を希望される方は、保健センターへご連絡ください。

検診・検査名	実施日	料金	会場
肺がんCT検診	6月25日(木)、26日(金)	3,300円	役場駐車場
結核肺がん検診 (胸部レントゲン検査)	9月24日(木)、25日(金)	600円	新型コロナウイルス感染症対策の為、会場については各通知を確認してください
胃がん検診 (バリウム検査)	7月29日(水)、30日(木)	2,000円	
大腸がん検診 (便2日法)	6月11日(木)、12日(金)、13日(土) 7月29日(水)、30日(木)、9月4日(金)	容器代 300円 検査代 200円	
乳がん検診 (マンモグラフィ検査)	5月13日(水)、14日(木)	3,000円	
乳房超音波検査	10月14日(水)	1,500円	
子宮がん検診	9月16日(水)、10月14日(水)	1,500円	

※令和2年4月30日現在の予定です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程変更あるいは実施中止となる場合があります。

昭37年4月2日
昭54年4月1日生まれ
の男性の皆様へ

**風しん抗体検査・
予防接種のお知らせ**

全国的に流行している感染症の一つである風疹への対策として、風疹の予防接種を受ける機会がなかった昭和37年度～昭和53年度生まれの男性を対象に、令和4年3月末までの期間に限り、抗体検査と予防接種を無料で実施します。

今回3月末に昭和37年～昭和46年度生まれの方に、抗体検査・予防接種無料クーポン券を発送しました。また、昨年5月に発送した昭和47年度～昭和53年度生まれの方のクーポン券の有効期限を2020年3月末から1年延長しますので、今年度もそのまま使用できます。

抗体検査は、医療機関または特定健診や事業所健診の集団健診受診の際に受けることができます。詳しくは、村からの通知をご覧ください。

「健康と福祉のひろば」に関するお問い合わせは保健センター ☎0263(67)4856 まで

～ 麻績村子育て世代包括支援センター事業開始のお知らせ ～

麻績村では、令和2年4月より「麻績村子育て世代包括支援センター」事業を麻績村保健センター内で実施します。

この「麻績村子育て世代包括支援センター」は、妊娠出産から子育て期にわたる切れ目ないサポートを行うための総合相談窓口です。妊娠、出産、子育てに関するお悩み等お気軽にご相談ください。

また、「麻績村子育て世代包括支援センター」開設に伴い、母子健康手帳の交付場所を、役場住民課から麻績村保健センターに変更いたします。母子健康手帳交付時には、妊婦さんと保健師が面談を行い、妊娠・出産・子育てに関するご相談をお受けします。

相談は、麻績村保健センターにお越しいただくほか、電話での相談や家庭訪問も行います。妊婦さんだけでなく、子育て中の保護者の方もお気軽にご相談ください。

◇麻績村子育て世代包括支援センターは どんなことをするのですか？

- ・妊娠期から子育て期の不安や悩みに関する相談
- ・子育て支援に関する情報提供
- ・妊娠・出産・子育てを応援するためのプランの作成
- ・医療機関・子育て支援機関・保育園など関係機関との連絡調整

◇どんなことが相談できますか？

- ・初めての妊娠・出産で、何を準備してよいかわからない
- ・引っ越してきたばかりで、子育ての情報を知りたい
- ・育児の方法がわからない
- ・お子さまの健診や予防接種に関することなど

令和2年度 各種健康診査のお知らせ

健診の名称	若者健診	国保特定健診	すこやか後期高齢者健診
対象者	20～39歳の方 (保険の種類は問いません)	麻績村国民健康保険加入の方で、令和2年度中の年齢が40～74歳の方	後期高齢者医療保険加入の方で、健診を希望される方
通知方法	対象者へ健診案内を送付		希望者へ健診案内を送付
受診料金	1,000円		無料
健診内容	血液検査・心電図・血圧測定・尿検査・身体計測・診察		
日程	6月11日(木)、12日(金) 8:45～11:30 13:15～15:30 6月13日(土) 8:45～12:00(午前のみ) 9月4日(金) 8:45～11:30 13:15～15:00		
会場	麻績村総合体育館(予定)		
実施医療機関	玉井医院、鳥羽医院、松林医院		
受診料金	1,500円		無料
実施期間	令和2年7月1日(月)～令和3年3月19日(金)		
人間ドック 補助金額	基本項目について、上限20,000円、オプション項目について、上限5,000円 ※既に、特定健診を受診されている方への補助はありません。 詳細は、麻績村役場住民課までお問合せください。		

※個別健診と人間ドックの受診申し込みは、各医療機関へお願いします。

関係機関からの お知らせ

国民年金保険料学生納付 特例の申請について

学生納付特例制度により、平成31年度(令和元年度)に保険料納付を猶予されている方で、令和2年度も引き続き在学予定の方へ、3月末に基礎年金番号が印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書が送付されています。同一の学校に在学されている方は、このハガキに必要事項を記入して返送いただくことにより、令和2年度の申請ができます。(この場合、在学証明書及び学生証の写しの添付は不要です。)なお、令和2年度は学生納付特例制度を利用せず、保険料の納付をご希望の場合は、納付書を作成して送付します。お手数をおかけしますが、松本年金事務所までお問い合わせください。

☎0263(32)5821

特別養護老人ホームの職員を募集

■募集する職種および受験資格いずれも普通自動車免許があり、各職種に必要な資格を有する人
 <現在募集中の会計年度任用職員>

○介護職員(各施設若干名) ※組合各施設に事前連絡の上、随時、面接により選考します。

<令和3年度に採用する正規職員>

○看護職員 5名程度 ○介護職員 10名程度(昭和50年4月2日以降に生まれた人)

※各資格は、令和3年3月末までに取得見込みのものを含みます。

※学生は、令和3年3月末までに卒業見込みの人に限りです。

■第1次試験 6月27日(土)

■申込期間 5月8日(金)～6月17日(水) 平日の午前9時～午後5時

■申し込み方法等 組合各施設および事務局(特別養護老人ホーム桔梗荘内) および組合ホームページ(URL <http://aoihato.com/>)にある申込書に記入の上、本人が直接事務局に提出してください。

■勤務場所 東筑摩郡(麻績村・山形村)、塩尻市、松本市、木曾郡にあるいずれかの組合施設

■お問い合わせ先 松塩筑木曾老人福祉施設組合事務局 ☎0263-53-5000

松本税務署から お知らせ

「令和元年度の所得税の確定申告をされた方へ」
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、申告期限が延長されたことに伴い、確定申告の結果、納付税額が生じた方でそれを口座振替により納税される場合の振替日が次のとおり変更となりました。振替日前の預貯金残高のご確認をお願いします。

【振替日】

令和2年5月15日(金)

調停手続き相談会 (無料)を開設します

調停委員が金銭貸借、土地境界、不動産、交通事故、夫婦関係、相続などについて調停手続きの相談に乗ります。秘密は厳守します。予約は不要です。ご都合の良い会場にお越しください。

安曇野会場 6月26日(金)
 塩尻会場 6月27日(土)

松本会場 6月28日(日)
 ◇お問い合わせ先
 松本調停協会
 ☎0801804910215
 長野地方裁判所松本支部
 ☎0263(32)3043

調停相談に関する問い合わせである旨、お伝えください。

春の粗大ごみ回収 延期のお知らせ

5月17日(日)に予定しておりました春の粗大ごみ回収は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため6月以降に延期とし、日程は後日広報無線等でお知らせいたします。

村民の皆さんには大変ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

◇お問い合わせ先
 役場住民課
 ☎0263(67)4854



「令和2年度 自衛官等」募集案内

防衛省では、下記の予定で特別職国家公務員「自衛官等」の受付及び試験を実施します。

試験種目		応募資格	受付期間	試験日
自衛官候補生	男子	18歳以上33歳未満	年間を通じ行っております。	受付時にお知らせします。
	女子			
一般曹候補生	男・女		7月1日～9月10日	1次：9月18日～20日 2次：10月9日～14日
航空学生	男・女	海 18歳以上23歳未満(高卒見込含)又は高専3年次修了者(見込含) 空 18歳以上21歳未満(高卒見込含)又は高専3年次修了者(見込含)	7月1日～9月10日	1次：9月22日 2次：10月17日～22日 3次 海：11月20日～12月16日 空：11月14日～12月17日
防衛大学校学生	推薦	18歳以上21歳未満(高卒見込含)又は高専3年次修了者(見込含)で、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を納め、学校長が推薦できる者	9月5日～9月11日	9月26日・27日
	総合選	18歳以上21歳未満の者(自衛官は23歳未満)(高卒見込含)又は高専3年次修了者(見込含)		1次：9月26日 2次：10月31日・11月1日
	一般	18歳以上21歳未満(高卒見込含)又は高専3年次修了者(見込含)	7月1日～10月22日	1次：11月7日・8日 2次：12月8日～12日
防衛医科大学校医学科学生	男・女	18歳以上21歳未満(高卒見込含)又は高専3年次修了者(見込含)	7月1日～10月7日	1次：10月24日・25日 2次：12月9日～11日
防衛医科大学校看護科学生(自衛官候補看護学生)	男・女	18歳以上21歳未満(高卒見込含)又は高専3年次修了者(見込含)	7月1日～10月1日	1次：10月17日 2次：11月28日・29日

★お問い合わせ先：自衛隊長野地方協力本部松本地域事務所・広報センター「信濃」
松本市深志2-5-6 マルナカ深志ビル1F ☎0263-36-2787
◆役場担当課：総務課 ☎0263-67-3001

第13回 防災コラム

～ 地域防災力を高めよう ～



村内の自主防災組織は概ね組織化が進みましたが、地区の防災訓練の実施状況や防災意識は多様です。

災害の際に、どんなことが課題になるのか、お住まいの地区の実情に合わせて話し合い、定期的に防災訓練を実施するなど、防災意識を高めましょう。

議会だより

No.136

☆3月定例議会	16
☆子ども議会開催	17
☆一般質問	18
☆議員活動報告	22

発行 麻績村議会
編集 議会編集委員会
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

3月定例議会

3月定例会は、3月3日から10日までの8日間の会期で開催された。

今議会は、議場でのマスク着用や手洗い・消毒の励行など、新型コロナウイルスの感染予防対策を実施した。

第1日目は、諸般の報告1件、陳情の委員会付託1件、専決処分の承認1件（一般会計補正予算第5号）、工事請負契約1件、条例制定及び改正議案9件、東筑摩郡筑北保健衛生施設組合の解散議案と、その他議案2件のほか、令和2年度の予算8件の上程を行い、工事請負契約のみ審議・採決を行い、原案のとおり可決した。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、令和2年度予算を除き、上程した議案等の詳細説明を提出者から受けた。新年度予算説明は委員会審議を2日間行い、3月4日に総務経済委員会関係を、5日に社会文教委員会関係を、それぞれ関係職員から説明を受け審議した。

第2日目は、議会改革の一環として、7日土曜日に休日議会を開催し、7名の議員が登壇し一般質問

問を行い、村政の執行状況や将来に対する方針について所信を質し、あるいは報告、説明を求めた。休日議会は今回で9回目となり、コロナ対策の中ではあったものの、住民の方に議場へ足を運んでいただいた。

第3日目は、第1日目に上程した承認1件、議案12件の審議・採決等を行い、原案のとおり可決した。また、工事請負変更契約1件、令和元年度の補正予算8件及び同意2件、諮問1件の上程を行い、本会議終了後、議会全員協議会において上程した案件の詳細説明を提出者から受けた。

第4日目は、第3日目に上程した議案等の審議・採決を行い、全議案とも原案のとおり可決した。また、教育委員の同意2件、人権擁護委員の諮問についても同意等を行った。

諸般の報告

○議員派遣結果報告

3月3日上程

条例の制定・改正

- 麻績村附属期間に関する条例の制定
- 麻績村移住体験住宅の設置及び管理に関する条例の制定
- 麻績村立学校設置条例の制定
- 麻績村し尿等投入施設設置条例の制定
- 麻績村し尿等処理に



▲コロナ対策によるマスク着用

- 長野県町村公平委員会共同設置規約の変更
- 一般会計特別会計
- 国民健康保険特別会計
- 聖高原別荘地

令和2年度 予算

- 聖高原別荘地地上権分譲事業特別会計
- 住宅団地分譲事業特別会計補正(第2号)
- 水道事業特別会計補正(第4号)
- 介護保険特別会計補正(第2号)
- 後期高齢者医療特別会計補正(第2号)

○麻績村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

○東筑摩郡筑北保健衛生施設組合の解散

○国民健康保険特別会計補正(第2号)

その他

○職員の仕事の宣誓に関する条例の一部改正

○後期高齢者医療特別会計

令和元年度 補正予算

○一般会計補正予算(第6号)

人事案件

○教育委員会委員の任命に同意
市ノ瀬淳一氏
宮川 裕満氏

○人権擁護委員の諮問書のとおり答申
滝澤知恵子氏

その他

○麻績アクアセンターし尿等投入施設建設工事請負契約の変更

議員発議

○議会議員の派遣

陳情審査結果

社会文教委員会

○「医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情」

【審査結果】

採択・意見書提出
厚生労働省が昨年2月に公表した医師の充足状況を示す「医師偏在指数」において長野県は医師少数県とされた。2024年に必要となる内科医は2,237人で現状では571人不足と見込まれ、確保のためには年間100人の養成が必要とされている。

先ごろ「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」が発足し、長野県知事も呼びかけ人となっている。

長野県の医師数は全国平均を大きく下回っており、医師の養成数が減少しては県内への医師の誘致も厳しさを増すことが予想される。地域住民が安心して暮らせる救急医療や地域包括ケア体制充実のため、医師数を増やことが求められると考へ採択とし、意見書提出とした。

第14回 子ども議会



▲わたしたちの考えを要望します

麻績小学校6年生が議会の仕組みや村政について学ぶ「子ども議会」を1月21日に開催した。今度こそ各地で行われるようになってきた子ども議会であるが、麻績村では各地に先がけて行っており、今年14回目を迎えた。6年生23人が6グループに分かれ、村の観光PRや空き家対策・教育環境整備など提言や要望を行った。今年には質問の答弁に対し、児童から再質問があり、本議会さながらのものとなった。議会としても若いうちから関心を持つてもらい、将来の人材育成につながっていくことを願う重要なものと位置付けている。

Aグループ

☆聖湖の大々的なPR
スキー場の現状と今後の見通し

Bグループ

☆中学校の水道水を飲みやすく

Cグループ

☆バス停を安全で快適なものに

Eグループ

☆安心・安全な通学路

Fグループ

☆子どもが遊べる公園を

一 般 質 問

質問事項

峯村 賢治

○聖高原の観光事業の現状と今後は ○防災、減災について ○健康管理について

宮川 秀俊

○福祉企業センターと山ぼうし分場の今後の方向性はどのようなものか
○入札について ○教育行政について ○SDGsの取り組みについて
○第2期子ども子育て支援に関して ○老人クラブについて

小山 福績

○地域防災について(地区主体の防災訓練の計画は) ○消防団員の負担軽減策について
○指定管理、次年度の協定とシェンガルテン、レイクサイドの現状は

小瀬 佳彦

○観光事業は村民益になっているか(観光事業の抜本的な見直しについて)
○筑北村立聖南中学校と麻績村筑北村学校組合立筑北中学校の統合について
○森林経営について ○子育て支援について

茂木 泰男

○児童公園の具体的な整備計画は ○福祉施設、福祉センターの整備計画について
○「聖高原駅」に身体障がい者専用駐車場設置計画について

塚原 利彦

○テレワーク施設の利活用を高めるためにはどうしていくか
○麻績村単独運営となる筑北中学校について 麻績の学舎の利活用に関して

飯森 茂孝

○防災体制と避難訓練実施の考えは ○村営バスによる公共交通の利便性向上について
○生徒数減少に伴う学校統合意識調査実施について

聖高原の観光事業の現状と今後は

ここ数年微減状況 天候不順がなければ6万人前後を見込んでいる



峯村 賢治 議員

問 聖高原の現状と今後についての考えは。
答 ここ数年微減の状況で、理由として天候不順や、東日本台風の災害によるものと検証しており、今年度は、新型コロナウイルスによる入り込み客数の減少が予想されるが、天候不順等がなければ6万人前後の入込客数になるうかと考えている。
問 天候不順は予想不可であるが、今後の聖高原の方向性、またビジョンについて伺う。
答 現在聖高原は屋外レジャー中心で天候に大きく左右されるが、今後は登山やサイクリング等新たなニーズに加えて、釣りなど天候に左右されない物に力を入れて行きたい。

今年度のような雪

不足でも、新たな客層の開拓のために冬期キャンプ場の開設の考えはないか伺う。
答 当村のキャンプ場の入り込み客数は前年比124%である。現在バンガローには断熱材が貼ってなく、シャワー室、水道施設、炊事場等、冬用に整備されてなく利用がむずかしいが、新たな誘客に向けて今後研究したい。
問 博物館の展示品の入れ替えの検討と、旧聖高原ホテルの2階に保管されている展示品の管理とその利用法は。
答 過去の展示物は、剥製類、昆虫と海洋生物の標本であるが、標本については破損が著しく、処分を検討中である。博物館は、麻績の歴史をテーマに常設しており、継続して行く農機具等は。
問 それら以外の昔の農機具等は。
答 リニューアルの際に処分した物も多々有り、現在展示できる状態ではなく、倉庫に保管している。

福祉企業センターと山ぼうし分場の 今後の方向性はどのようなものか

施設の整備については、今後の在り方も含め 検討を始める

宮川 秀俊 議員



問 福祉企業センターと、山ぼうし分場の施設は老朽化が進んでいる。今後の方向性はどのようなものか。

答 福祉企業センターについては、昭和49年に建設、また、山ぼうし分場の建物については、昭和41年に建てられた旧麻績保育園の建物であり、老朽化が進んでいるため施設の整備については、今後の在り方を含め検討を始めるところだ。

福祉企業センターは、社会福祉法に基づく授産施設で、身体上もしくは精神上の理由または世帯の事情により、就業能力の限られている方に対して就労、技能の習得のために必要な機会を与え、自立の助長を図るために設置

されている。現在の利用者は5名であり減少している。

平成29年4月から分場として、山ぼうし作業場が加わり、現在の利用者は4名となっている。

施設の整備については多くの方に利用いただける魅力ある施設を目指し、障がい者計画の中でも就業の場の提供を図ることとしており、社会福祉法に基づき授産施設の機能と共に障がい者の総合支援法により、就労継続支援施設としての機能も備えた整備を、今後検討していきたい。

問 村内にある工場が3月いっぱい閉鎖になると聞いたが、利用させていただけないか交渉してみたいか。

答 具体的な内容の検討以前に利用者がどうなっていくか、予測が難しい。将来、麻績村だけでなく近隣を含め交通の利便性も考え決定していきたい。

地域防災について(地区主体の防災訓練の計画は)

地域独自の訓練実施を考えている

小山 福績 議員



問 現在の村内避難所に指定されている位置関係を含めた、現状と課題は。

答 平成31年4月に、防災計画を見直して、従来5ヶ所の避難所が現在26ヶ所ある。課題は避難所までの距離、避難方法、避難所の運営方法などで、本年1月に区長会を開催して運営方法等について、協議している。

問 各地区に配備されている災害時対応用の器材の種類は。

答 今現在配布してあるものは、ヘルメット、拡声器、それと、地区防災訓練を行ったところには鍋釜セットを配布してあるが、令和2年度にすべての地区に配布を考えている。1月に区長会で、主要公民館に防災無線を配備した。今後の配備計画は、発電機、投光器、コード

リール、ガソリンの携行缶等の準備を進めている。今後、各地区の要望を聞きながら、土のう袋、炊き出し用の袋、非常用トイレ関係の用具等も配布を考えている。

問 「住民支え（すまいたすけ）あいマップ」の進捗と、現在の各地区の状況は。

答 平成27年度から今年までに20地区で、村から説明会を行っている。現在18地区で「支え（すまいたすけ）あい台帳」の作成が済んでいる。令和2年度から台帳の作成、更新は、麻績村社会福祉協議会に委託し、各地区へ作成の支援に入ってもらい、全地区作成に向けて推進して行きたい。

問 地区防災力を高めるには、訓練が必要と考えるが、地区主体の防災訓練の計画は。

答 令和2年度に地区の防災組織の会長さんと打ち合わせをして、形式的なイベント方式の訓練でなく、具体的に命を救うための有効的な一次避難所の開設訓練と、地区独自の訓練実施を考えている。

観光事業は村民益になっているか

聖高原というブランドは有利に働いている

小瀬 佳彦 議員



問 一般行政や地方交付税、ふるさと納税までを含めて観光事業費を賄っているが、どれだけ村民益になっているのか。

答 スキー場を廃止すれば赤字は減るが、スキー場で育つ子供たちはどうなるのか。シェーンガルテンや聖レイクサイド館を廃止すれば赤字は減るが村民や村外のお客様が利用している。聖湖周辺の公園整備をやめれば経費は浮くが、美しい聖高原はようになっていくのか。聖高原というブランドは我々が気付かない面でも非常に有利に働いている。

問 今年度の聖高原スキー場の運営状況と来年度以降の見通しは。
答 例年がない雪不足や温暖化の影響により1月は4日間、2月は

2日間のみ営業だった。来年度以降は、降雪量と気温の低下を期待し、年内オープンを目指す。

問 使わなくなった別荘の活用並びに処分等の見込みは。

答 村に寄付された別荘は10棟。うち3棟は取壊し、7棟が残っている。1棟は貸別荘として利用しているが、6棟は老朽化が進んでいる財源確保ができなければ活用も処分もできず未着手である。

問 活用や処分の見込みが立たない理由にシミュレーションができていないことがある。

答 課題になる建造物は一応リストに載せてある。聖高原については今ある建造物の老朽化対策は財源の確保も難しく具体的に進んでいない。

問 観光事業の抜本的な見直しは。

答 やらなければならぬが、若者定住・子育て・教育・防災対策などを今は優先していきたい。

児童公園の具体的な整備計画は

「ちびっ子広場」は遊具のリニューアル等 本年度中に整備、実施の予定

茂木 泰男 議員



問 児童公園の具体的な整備計画を伺う。

答 二ヶ所ある児童公園のうち、ちびっ子広場は遊具が設置されて20年以上経過しており令和2年度中に公園の整備を実施する予定。本町の若者定住中宅の公園整備については、本町の区長から地区要望に対して村と協議したい旨申し入れがあり今後村の考え方や対応を地区に向いて協議する方針だ。

問 福祉企業センターの今夏の猛暑対策、整備計画について伺う。

答 老朽化により今後建て替えが予定されている施設であるが多大な二重投資を避けるため、令和元年度はレンタルでの冷風機で暑さ対策を実施した。今後の建て替え時期も数年後に見込む事から、利用者の体調管理を考慮

して令和2年度中に空調整備を実施する予定である。

問 宮本の福祉センターは施設、設備の老朽化が激しい状況の中、貯水タンクの早期入替が必要と思われるが入替の計画は。

答 温泉貯水タンクの老朽化が進んでおり、保健所の指摘もあつて入替え工事は今年3月中には工事終了予定だ。
問 2基全てを入替えるのか又、今後の修繕計画は。

答 今回の工事でタンク1基で十分対応出来る。修繕計画については平成19年に施設のバリアフリー化、耐震補強など改修工事を実施し、今後は定期的に建物診断を行い優先順位を決めて随時修理を行っていく予定である。

問 聖高原駅に身体障害者専用駐車スペースを設置する考えは。

答 令和元年5月より駅前駐車場の駅に近い場所に試行的に運用を始めており、当初は2区画だったが、現在は4区画を設け一時利用という事で運用している。

テレワーク施設の利活用を高めるためには どうしていくか

移住体験住宅とともにお試しで利用いただき、 移住者増加につなげたい



塚原 利彦 議員

問 テレワーク企業の誘致について、企業からの相談や問い合わせは多かったか。

答 1件、1企業の契約があり、約2か月間入居していた。また、村内の方から相談1件を受けたが契約までに至らなかった。

問 働いていた方は何人ぐらいか。

答 人数までは把握していない。2か月入居していたが、現在は退去している。

問 今年度の重要事業である小東の定住促進住宅に関して、問い合わせ数や移住希望者の状況、テレワーク等の関連はどんな様子か。

答 令和2年度に募集要項等を整備し、竣工の目途が立った段階で広報、募集をしていき

たい。また、テレワークセンターの利用については、天王団地や本町の若者住宅への入居者募集の際、まずテレワークセンターを利用しての募集を行い、次に一般の募集を、という様に広報しており、小東の住宅についても同様の形で案内している予定。それから、推進課では村内の案内ツアーを実施しているが、都内で行った移住相談会の時のツアー参加者で、9名の方が移住につながっている。

問 テレワーク施設全体の利活用を高めるにはどうするか。

答 テレワークセンターに関しては、滞在する場所が無い事が難点の一つと考える。そこで新年度は、近くの場所に移住体験住宅を整備し、テレワークセンターとともに、お試し利用をしていただき、移住者の増加につなげたい。

防災体制と避難訓練実施の考えは

防災マップは各戸に配れるよう予算計上している 住民参加の訓練はいろいろな場面を想定し考えている



飯森 茂孝 議員

問 防災・減災対策の見直しは、麻績村にとり重要なテーマである。災害時対応マニュアル及び一次避難所運用マニュアルの進捗状況は。

答 台風19号災害後の反省点等を聞く中で、職員の配備体制の見直しをしている。自主避難所態勢の充実を図るため、防災担当、振興係長のほかに住民係長も配備の対象とした。非常時における連絡体制の強化には、区長会を開催し手順書の作成と通信手段確保のため無線の配備をした。

問 ハザードマップの進捗状況は。

答 防災マップは、昨年12月におおむね出来上がり、令和2年度には各戸に配布できる。
問 小中学校では毎年

防災訓練が行われている。防災教育の面からも大切な防災備蓄品である保存食の配布はどの様になっているか。

答 防災教育という観点から非常時の備えとして、筑北中学校ではレトルト備蓄食材を用意している。麻績小学校についてはこれからになる。

問 19号台風災害時において筑北村との災害時協力協定は機能したのか。

答 両村では、特別警報が発令されている状況で、相互応援活動は実施していない。情報交換はしている。

問 村民参加による総合防災訓練実施の考えは。

答 村民参加ということと、総合防災訓練とは相反するということをまず理解していただきたい。そういった中で麻績村では住民参加の訓練をいろいろな場面を想定し今考えている。

私たちはこんな活動をしています

2月

- ・松塩筑木曾老人福祉施設組合定例会
- ・議会運営委員会
- ・国への要請活動
- ・安曇野松筑広域環境施設組合議会定例会
- ・松本広域連合議会定例会
- ・総務経済委員会
- ・麻績村筑北村学校組合議会定例会
- ・東筑摩郡筑北保健衛生施設組合議会定例会
- ・穂高広域施設組合議会定例会
- ・長野県町村議会議長会定期総会
- ・例月出納検査

3月

- ・議会定例会
- ・社会福祉協議会役員会
- ・社会福祉協議会理事会
- ・東筑摩郡議会議長会
- ・議会全員協議会
- ・麻績村筑北村学校組合議会臨時会

4月

- ・社会福祉協議会評議員会
- ・例月出納検査
- ・議会運営委員会
- ・議会だより編集委員会
- ・議会・理事者懇談会
- ・東筑摩郡筑北保健衛生施設組合議会臨時会
- ・例月出納検査



議会だより

編集後記

人類の歴史はウイルスとの戦いの歴史でもあると言われている。

中国・武漢で発症したとみられる新型コロナウイルスは、驚異的な感染力で世界的大流行となっている。人と物の動きがストップ、社会的、経済的ダメージは深刻だ。東京五輪の開幕一年延期、志村けんさん新型コロナウイルス感染による肺炎のため死去、コロナショックが猛威を振るう。

非常事態だからこそ、一人一人が出来ること「3密」を避けて、手洗い、うがい、マスク、そして暖かな春の訪れを感じながら自己免疫低下を防ぐため栄養、睡眠、適度な運動を。終息を祈りつつポジティブに対応しよう。

編集委員

- ◎塚原利彦
- 飯森茂孝
- 宮川秀俊
- 峯村賢治

特集

この村で新たに農業を始めよう 新規就農者紹介



寄稿

- ・川上啓介さん【りんご】
- ・佐藤大輔さん【りんご】
- ・橋詰一生さん【林業・花き】
- ・山崎健司さん【りんご】

おみ **農業委員会だより**

発行
麻績村農業委員会
編集
だより編集委員会
第51号

自信をもって人に勧められる物で商売
ができるのは、とてもうれしい。

りんご農家 川上啓介さん(宮本地区)



川上啓介さん

三月まで協力隊をしていました川上啓介と申します。協力隊を卒業し、四月からりんご農家としてやっていきます。これからお借りするりんご畑は横屋にあります。また、下井堀であんず(主に生食用)もやるかと思っています。家は協力隊の時の家とは変わりますが、今まで通り宮本です。宮本ではお借りした畑と田んぼで、自家用の野菜とお米も作っています。



協力隊として二年間農業をやってみて、農業を取り巻く環境はなかなか厳しいと感じました。私がある前の年はひょう、協力隊一年目には干ばつ、二年目は霜、台風による被害がありました。温暖化による気象の異常さは、これからも増していくと思います。政府や個人任せだけではなく、村としてもできる限りの対策をするべきだと思います。

筑北地域でりんごを作っている方の平均年齢は、七十歳ぐらいだと思います。農業に従事する方の高齢化も、非常に進んでいることがわかりました。現在りんごを作っている方は、ほとんどが定年を過ぎている方です。私が麻績に来ても、何人もの方がりんご作りをやめたり、規模を減らすため木を切っていました。協力隊の面接に来た際に、初めて会った村の方に、農業じゃ食っていけないよと言われたのを思い出しました。

ただ、麻績のりんごはとてもおいしいと思います。実家や知り合いに送ると、こんなにおいしいりんごは食べたことがないという人もいました。麻績のりんごがおいしいということを知ってここに来たわけではないのですが、自信をもって人に勧められる物で商売ができるのは、とてもうれしいです。おいしい

りんごができるこの環境で、畑を借りられるのもとてもありがたいと思います。また、NPO法人おみごとの機材を借りられるのも非常に助かります。

なかなか厳しいとは思いますが、なんとか工夫と努力をして、りんごとあんず栽培を生業として生活していきたいと思っています。また、協力隊だけでなく麻績村の若い人で、りんご栽培を仕事とする人が出てくるといいなあと思います。

去年に子供も産まれて、これからも麻績で暮らしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いたします。



新規就農を迎えてく体験、参加、観光、観光の 拠点として、麻績の土地にたくさんの人を迎えるく

りんご農家 佐藤大輔さん〔上井堀地区〕

二〇一七年十二月に麻績村の地域おこし協力隊としてりんごの栽培を学びに来て二年三ヶ月が経ちました。この度二〇二〇年四月から研修を終えて麻績村で新規就農いたしました。

研修中はりんご以外の作物にも色々挑戦し、どう農業を経営して行けばいいか模索の繰り返しでした。栽培技術、日々の管理、各地のイベントで販売など農業経営の大変さを知りました。働いた面では元々建築の業界にいたので力仕事や工期に日々追われる仕事だった為特に苦はないのですが、農業は営業も経理も並行していかなくてはいけない…社員だった頃とは考え方が全て違う、本当に一人でやっていけるのかと思ったこともありました。ただ、私の唯一の取り柄がポジティブに考えられる事です。大変な時もこれをこなせばまた一つ成長できる！もしかしたらこの先経験出来ない仕事なのかもしれない！なら、全力でこなしてみよう！とモチベーションを上げる事ができます。

出来ないことが楽しいと考えられる事が私の自信を持って言える長所になります。反面、技術が上達してしまうと他の事に挑戦しなくなってしまう傾向があります。

少し私の自己紹介をさせていただきます。生まれは神奈川県横浜市鶴見区になります。小学生の時に千葉県木更津市に家族で引っ越し、高校卒業後地元で電気工事会社に勤めました。その後現場の管理に挑戦したくて東京で内装工事の施工管理の会社に転職、会社都合により防犯カメラのメーカーに転職して三十五歳で長野県麻績村に移住してきました。長野県に来た理由は二十四歳で登山を始めていつかは山が近くにある環境で暮らしたいと思い続けてきたからです。

農業も最初は全く考えておらず、移住の相談会で話を聞いた事がきっかけです。悪い癖ですが、どうせならと新しい事を初めてみようと思いい長野県に移住してきてしまいました…

今までの知識、経験、技術を活かさない農業で不安や葛藤もありましたが、全て自分の責任やり方次第、今では麻績のおいしいりんごをたくさんの人に知ってもらいたく、やりがいを感じております。

私は上井堀の横屋地区でりんごの園地を引き継がせて頂き生産しています。



佐藤大輔さん

現在構想している事は、旬の時期に食べて頂きたいのはもちろんですが加工して時期じゃなくても食べられる事、個人以外にも企業に対し販路ができる商材のラインナップと生産量。なかなか個人では難しいですが…

他には交通の利便性を活かし麻績に足を運んで貰うこと。

体験より参加型にして、年間を通して農業に触れて頂く。私は縁あって二十歳の頃から神奈川県神奈川県の障害者グループに支援スタッフとして関わらせて頂いています。先日グループの定例で、参加型農業の話を活かすの1つにしてみようと提案致しました。是非との返事を貰ったのですが、関東からの団体の移動、宿泊施設、設備の問題など解決する事が多々ある為、直ぐとはいかなかったですが、今後実現出来れば楽しみにしています。

関連してりんごのオーナー制の話も頂き、りんご以外でも体験、参加、観光、観光の拠点など麻績の土地にたくさんの人に来てもらえればと思います。麻績の中には素晴らしい農家民泊やゲストハウス、宿泊施設があります。今後地元の方と多種多様の連携が取れば色々な視野が広がっていくと思います。

まだまだ構想の域を出ませんが今後の展望として考えております。

最後に若輩者ではありますが、ご指導ご鞭撻頂けたら幸いです。これから麻績村民として宜しくお願い致します。

古来の営みと現代にマッチするシステム 作りが花き生産者にも求められる。

林業・花き生産者 橋詰一先生さん【上井堀地区】



橋詰一先生さん

桜花き生産者としてこの地域に
できること

私は、里山暮らしに半生をかけようと、三年前に大阪から長野県麻績村へ家族四人で移住してきた。静かな生活を営みたくて、特に目立った産業があるわけではないが、穏やかな日本の原風景、山越しに望む北アルプス、どこにもあるようで、ここにしかない空気を感じ、この地に決めたのであった。現在は上井堀地区にてお世話になり、林業及び造園業を主として活動している。特に墓地や屋敷に近く、伐採が厳しく危険な樹木を特殊技術により除去する事業が昨今ニーズの高まりを見せている。また里山に住むものとして、山林と関わらずに生きていくことは難しいと考える。荒れていく耕作放棄地や山林、産業構造の変化や従事者の減少、良いニューズが聞こえない中、荒れていく耕作放棄地や山林を活用し、且つ長

く生業として続けていくものはないか、思慮しているところだった。個人的には水稲や果菜での生業イメージが湧かない農業の中、この地域には小さいながらも桜をはじめとする花木生産者がいた。彼らは水稲全勢の時代から山間部を切り開き、桜を植え、育ててきた。今や都市部より有名な植木屋が「この桜を」と買い付けに来るほどの隠れた名産地になっている。桜をはじめとする花きは、地理及び地質条件が相対的に寛容で、切花ほど単価はよくないが、その分手間もかからず、福島をはじめとする復興産業の一つとして取り組まれている。



この地域に春には桜の花が咲くことで地域の方をはじめ、訪れた人々をも楽しませ、自らも収入を得ていく、というスタイルが長野県認定林業士となった私自身がイメージでき得る農業だった。生産過程で出る規格外のをカフエや雑貨店用に直接出荷したり、残材となる枝を木工作家と共に活用した作品作りを試みるなど、材を余すことなく活かしていくことも可能である。一方、世界の花き市場に目を向けると切花の動向は下降気味、本来輸出入に適した商材である切花は需要やコスト面で嵩高く輸出入の難しい鉢物類は堅調な様子。また日本国内においても輸入による切花が多く見られ取扱量は減少傾向にある。そんな中、やはり心の拠り所なのか、桜の需要は安定的である。日本固有の商材ということこそ勝機があると考えている。もちろん物流コスト、販路開拓など全体的なコストの見直しは必要だろう。古来の営みと現代にマッチするシステム作りが花き生産者にも求められると感じている。この地域にとって景観は重要な資源である。この素晴らしい原風景を保ちながら、農林業に携われることに生きがいを感じる。



販売先の確保、販売力の強化が、最大の課題だなど感じています。

りんご農家 山崎健司さん〔中町地区〕

■ ■ ■
昨年の九月に三年間の協力隊の活動を終え、りんご農家として就農しました山崎健司と申します。

現在は中町区に住んでいて、梶浦のりんご園を引き継がせてもらって作業しています。

前園主の方がしっかりと管理していたので、大変ありがたく思います。

僕がやりだして荒れないように気をつけないとな、と日々勉強しています。

今後は大きくなりすぎて作業がしづらくなった木を更新しながら、隣接する土地も少し開墾し、僕が気になった品種や美味しいと思ったものを植えていこうかなと思っています。

協力隊の任期中に受けた講座で自分の味覚じゃなく、ニーズに合った物を作りましょう。

と言われましたが、せっかく長野に来て就農するんだから、自分が好きなものを中心作っていくつもりです。

とは言っても売れなげや意味ないので、うまくバランスを取らないとって感

じですが…

販売先の確保、販売力の強化、最大の課題だなど感じています。

愛知で働いてる頃、顔も名前も知らない営業の奴が取ってきた、残業必須の仕事をなんでやらされなきゃいけないんだ、と思っていた自分をぶん殴りたくなりますね(笑)

営業能力磨かなければ。



山崎健司さん

まだまだ知識も経験も足りないのだから試行錯誤しながら学んでいきたいです。

色々な発見や失敗をするだろうけど腐らず楽しめたらいいなと思ってます。

それ以外にも作業場所や資材等を置く場所の確保や、住まいをどうするかと言った課題も山積みなので、一つずつ確実に解決していきたいですね。

営農を軌道に乗せるということが目下の最大の課題ですが、自身のライフワークの充実も計っていくつもりです。

そもそも長野に移住しようと思ったのが、

大好きなりんごを作りながら温泉三昧、そば三昧、趣味のベース、自転車、ラインング、釣りを存分にやる！

他人に左右されずに仕事してマイペースに暮らしたい!!

と決めたからなので、頑張って実現するように行動していきます。

麻績での暮らしも慣れてきて、近隣の方にも良くしてもらっていて、感謝しています。

もうすぐ次男が産まれるし、長男も元気に育っています。

不安もありますが、楽しみもひとしおって感じます。

欲を言うと子供にはドラムとか鍵盤やってみたら、いつか親子セッションしたいですけどね(笑)

そして名古屋を離れたくなかっただろうけど、来てくれた妻にも感謝ですね。

おとなしく愛知に残ってればよかったじゃんと言われないように、しっかりと過ごさなければ!!

農業未経験でこちらに来て、まだまだ勉強不足で色々と近隣の方に迷惑かけるかもしれませんが、なにとぞよろしくお願いします。





令和元年度 麻績村・生坂村・筑北村 農業委員会協議会研修会

■2020年1月24日(金)

筑北村坂井公民館にて、東筑摩郡北部三村の農業委員会協議会研修会が開催されました。講師に長野県農業会議農政・農地部の神林氏と山際氏を迎え、人・農地プランの実質化に向けた話合いの技術を学ぶファシリテーション研修を行いました。「話す会議」から「書き出す会議」へを目指しワークショップを通じた明るい研修となりました。

その後坂井体験農園(坂井いちご園)にていちご栽培の視察を行いました。



地域農業振興等功績者表彰 小瀬宗彦さん受賞

■2020年2月19日(水)

松本地域管内三市五村の農業委員会で構成された松塩筑安豊農業委員会協議会主催の農業活性化推進研修会において、地域農業に貢献した功績により麻績村から小瀬宗彦さんが功績者表彰を受賞しました。

小瀬さんは、白ネギ栽培を主とする村でも有数の野菜農家として農業経営を行っており、平成19年に認定農業者となるとともに、年間約10トンを出荷し、名実ともに村を代表する農業者であります。堅実で何事にも熱心に取り組み、真面目で人望も厚く、農業に対する取組姿勢は他農家の模範であることから受賞の栄に輝かれました。生産物の品質も高く、消費者に大変好評を得ています。今後も更なるご活躍を願っております。

農業委員会からの お知らせ

■ 農地法第3条、第4条、第5条の申請の締切は、毎月十五日です。(十五日が土日祝の場合は次の平日)

■ 例会は毎月下旬(二十五日前後)に開催しております。

■ 令和二年度農作業標準賃金・農地の賃借料情報をこのたび、各区長さんを通じて全戸に配布しました。これから始まる農作業にあたっての参考としてください。



佐藤大輔さんの圃地

農家の思いを伝え
農業・農村の「未来」を
ともに考えます。

全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

全国農業 新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

週刊 月4回
金曜日発行

月700円 年8,400円
(消費税込)

購読のお申込みは、農業委員会までお気軽にご連絡ください。

発行 全国農業会議所 <https://www.nca.or.jp/shinbun/>

しっかり積み立て、
安心して豊かな老後を

国が支える。
大きな安心!

農業者 年金

3つの
加入要件

- ・20歳以上60歳未満
- ・国民年金第1号被保険者
- ・年間60日以上農業に従事

6つのメリット!

1. 少子高齢化に強い「積立方式」
2. 自由な保険料設定(月額2万円~6万7千円)
3. 終身年金で80歳まで保証
4. 税制優遇(全額社会保険料控除の対象)
5. 国庫補助(40歳未満の認定農業者・新規就農者等)
6. 国民年金の付加年金に加入(受給開始後2年で回収可能)

資料請求はホームページから <https://www.nounen.go.jp/>



(編集・構成 白井理恵委員)
(三浦委員)

編集後記

今回新規就農のお話を聞いて、村で農業を営むことにした皆さんの熱意を知り、大変勉強になりました。

時代が変わる中、農業を取り巻く環境は日々変化を遂げています。生活をするには経営の大規模化を目指し、努力しなければ成り立つ事は難しいと言われています。そんな中で就農される事は、大変だとは思いますがこの場を借りてエールを送りたいと思います。

恐れず、気負わず、楽しみながら農業を営んでいただき、村の宝である農地も大切にしてくださいませよう願っております。

春

の

出

来

事



▲保育園 入園式



▲保育園 卒園式



▲小学校 入学式



▲小学校 卒業式



▲中学校 入学式



▲中学校 卒業式